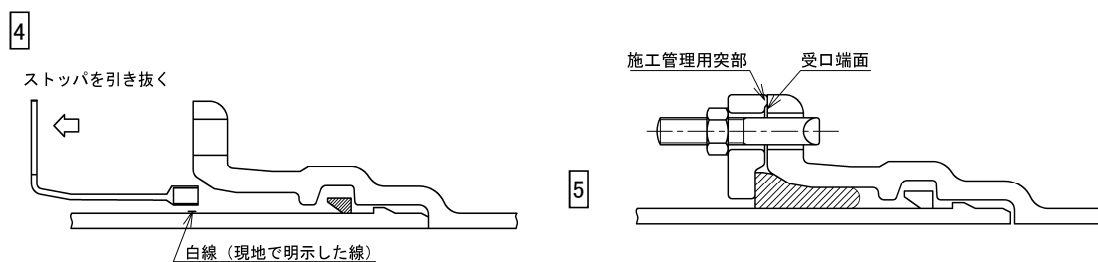
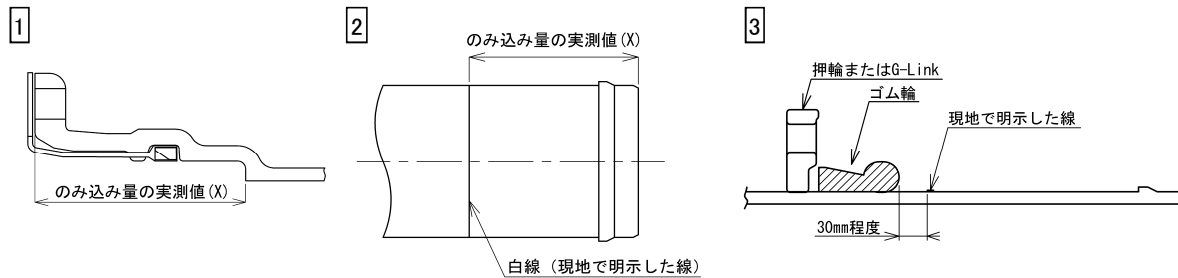


GX形継手 チェックシート(異形管・G-Link)

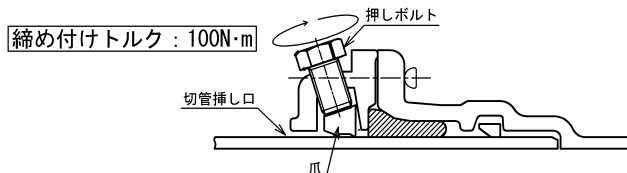
年 月 日

工事名	
図面No.・測点	
呼び径	

		配管工



6 G-Linkを使用する場合



管 No.								
管の種類								
略図								
継手 No.								—
挿し口突部の有無 ^(注)								—
清掃・異物の除去								—
ロックリング、STOPパの確認								—
挿し口の挿入量の明示								1 2
爪、押しボルトの確認(G-Link)								—
ゴム輪、押輪またはG-Linkの確認								3
滑 剤								—
STOPパの引き抜き								4
抜け出しチェック(挿し口突部有り)※2								—
T頭ボルト	本数							5
受口端面～ 施工管理用突部 の隙間 ※1	箇所数							5
	隙間ゲージ 確認							
押しボルト	本数							6
	トルク確認							
判 定								—
備 考								

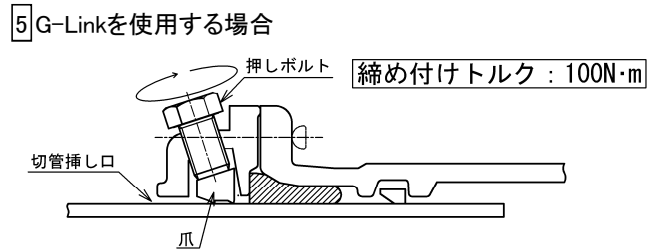
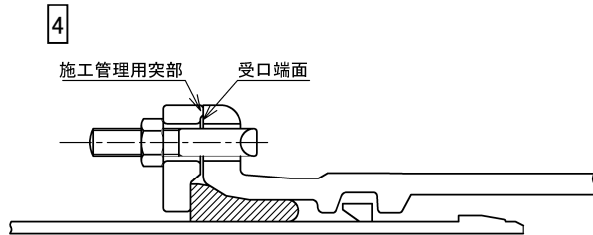
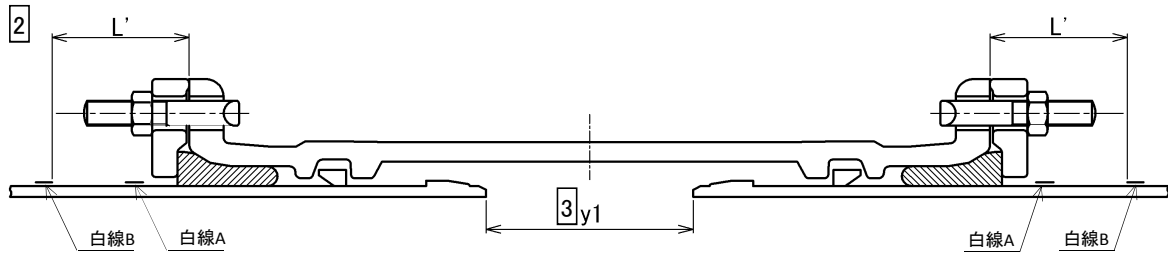
判定基準 ※1 受口端面と押輪またはG-Linkの施工管理用突部との間に0.5mm以上の隙間がないこと。
 ※2 挿し口を異形管受口に挿入し、STOPパを取り外した後、挿し口を上下左右前後に振って抜けないことを確認する。
 (注) 挿し口突部のない挿し口を異形管受口と接合する場合は、G-Linkを使用すること。

GX形継手 継ぎ輪チェックシート

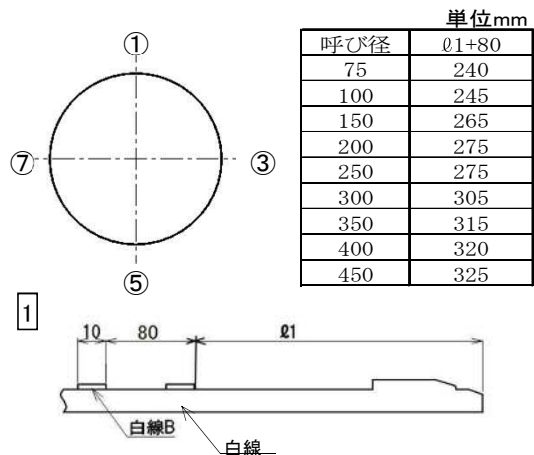
年 月 日

工事名	
図面No.・測点	
呼び径	

		配管工



管 No.			
管の種類			
略図			
継手 No.			—
挿し口突部の有無 ^{注1)}			—
清掃・異物の除去			—
白線A,Bの明示			1
爪、押ボルトの確認(G-Link)			—
ゴム輪、押輪またはG-Linkの確認			—
滑 剤			—
ロックリング、ストップの確認			—
ストップの引き抜き			—
受口端面～ 白線の間隔 (L') ^{注2)}	①		2
	③		
	⑤		
	⑦		
両挿し口端の 間隔 (y1) ^{注2)}	①		3
	③		
	⑤		
	⑦		
T頭ボルト	本数		4
受口端面～ 施工管理用突部 の隙間 ※	箇所数		4
	隙間ゲージ 確認		
押しボルト	本数		5
	トルク確認		
判 定			
備 考			



(i) 一方から順次配管していく場合

呼び径	L'
75	90
100	95
150	110
200	120
250	120
300	135
350	145
400	150
450	155

(ii) せめ配管の場合

呼び径	Y
75	190
100	200
150	240
200	250
250	250
300	300
350	300
400	300
450	300

判定基準 ※ 受口端面と押輪またはG-Linkの施工管理突部との間に0.5mm以上の隙間がないこと。

注1) 挿し口突部の無い挿し口を異形管受口と接合する場合は、G-Linkを使用すること。

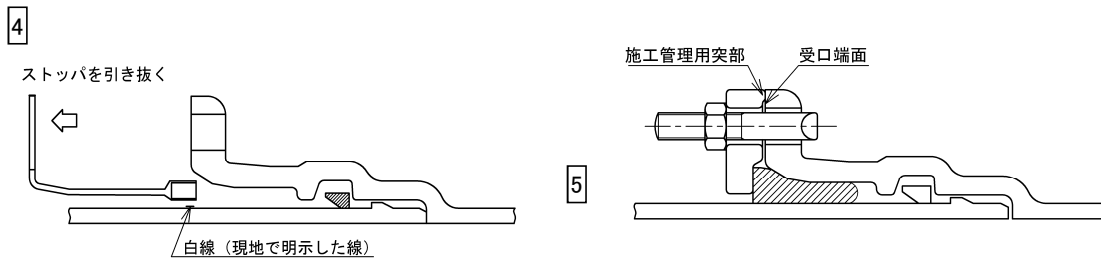
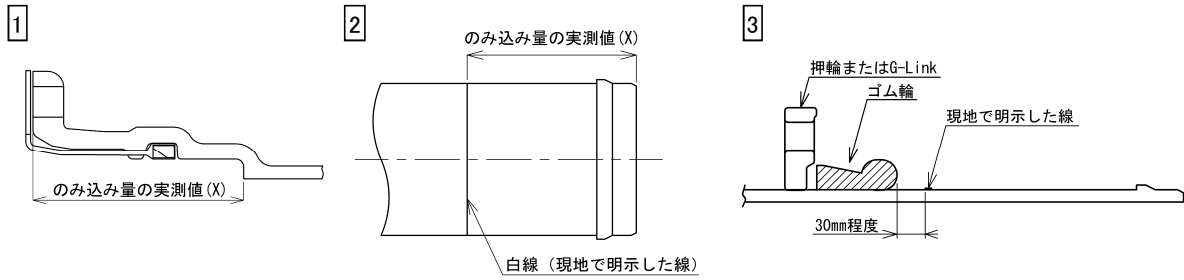
注2) 一方から順次配管していく場合にはL'寸法、せめ配管の場合はy1寸法を記入すること。

GX形継手 チェックシート(異形管・G-Link)

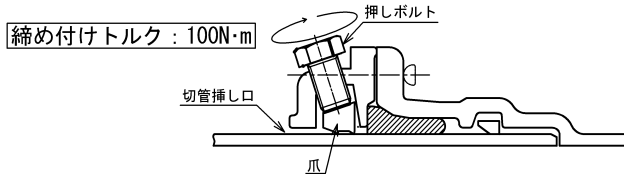
年 月 日

工事名	
図面No.・測点	
呼び径	

		配管工



6 G-Linkを使用する場合



管 No.									
管の種類									
略図									
継手 No.									—
挿し口突部の有無 ^{注)}		←挿し口突部の「有」・「無」の区分を記入する。※挿し口突部が「無」の場合には、G-Linkもしくは挿し口リングを使用する。							—
清掃・異物の除去		←接合要領書に従って、管を清掃したら「OK」を記入する。							—
ロックリング、ストッパの確認		←接合要領書に従って、ロックリングおよびストッパを確認したら「OK」を記入する。							—
挿し口の挿入量の明示		←のみ込み量の実測値(x)を明示したら「OK」を記入する。							1 2
爪、押しボルトの確認(G-Link)		←接合要領書に従って、爪および押しボルトを確認したら「OK」を記入する。(G-Linkの場合)							—
ゴム輪、押輪またはG-Linkの確認		←接合要領書に従って、ゴム輪、押輪またはG-Linkの順序と向きを確認したら「OK」を記入する。							3
滑 剤		←接合要領書に従って、滑剤を塗布したら「OK」を記入する。							—
ストッパの引き抜き		←ストッパを引き抜いたら「OK」を記入する。							4
抜け出しチェック(挿し口突部有り)※2		←接合要領書に従って、挿し口が抜け出さないことを確認したら「OK」を記入する。							—
T頭ボルト	本数	←締め付けたT頭ボルトの本数(本)を記入する。							5
受口端面～ 施工管理用突部 の隙間 ※1	箇所数	←押輪の施工管理用突部と受口端面の隙間を隙間ゲージで確認した箇所数(箇所)を記入する。							5
	隙間ゲージ 確認	←接合要領書に従って、隙間のないことを隙間ゲージで確認したら「OK」を記入する。							
押しボルト	本数	←締め付けた押しボルトの本数(本)を記入する。(G-Linkの場合)							6
	トルク確認	←押しボルトを規定のトルク(100N・m)で締め付ければ「OK」を記入する。(G-Linkの場合)							
判 定		←全てのチェック項目を満足していれば「OK」を記入する。							—
備 考									

判定基準 ※1 受口端面と押輪またはG-Linkの施工管理用突部との間に0.5mm以上の隙間がないこと。

※2 挿し口を異形管受口に挿入し、ストッパを取り外した後、挿し口を上下左右前後に振って抜けないことを確認する。

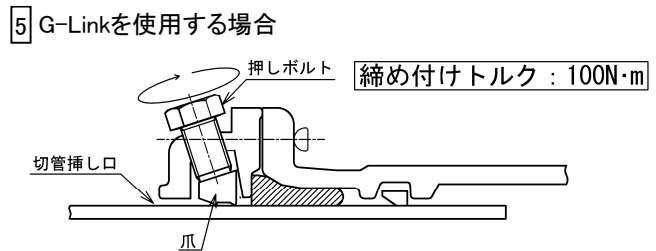
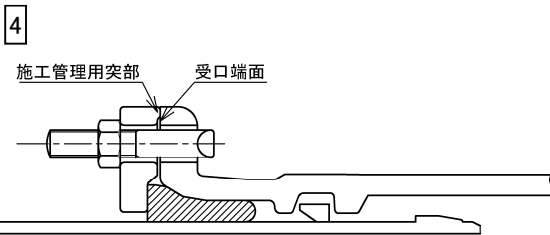
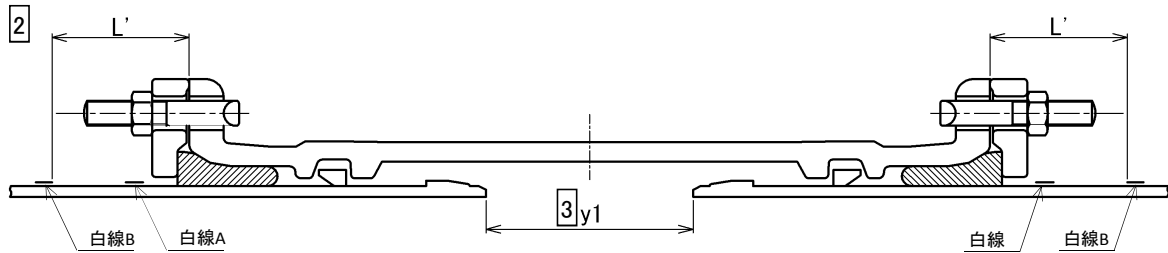
注) 挿し口突部のない挿し口を異形管受口と接合する場合は、G-Linkを使用すること。

GX形継手 継ぎ輪チェックシート

年 月 日

工事名	
図面No.・測点	
呼び径	

	配管工



管 No.	
管の種類	
略図	

単位mm	
呼び径	φ1+80
75	240
100	245
150	265
200	275
300	305
350	315
400	320
450	325

継手 No.					
挿し口突部の有無 ^{注1)}					挿し口突部の「有」・「無」の区別を記入する。※挿し口突部が「無」の場合には、G-Linkもしくは挿し口リングを使用する。
清掃・異物の除去					接合要領書に従って、管を清掃したら「OK」を記入する。
白線A,Bの明示					白線A,Bを明示したら「OK」を記入する。(切管挿し口に接合する場合)
爪、押ボルトの確認(G-Link)					接合要領書に従って、爪および押しボルトを確認したら「OK」を記入する。(G-Linkの場合)
ゴム輪、押輪またはG-Linkの確認					接合要領書に従って、ゴム輪、押輪またはG-Linkを確認したら「OK」を記入する。
滑 剤					接合要領書に従って、滑剤を塗布したら「OK」を記入する。
ロックリング、ストッパの確認					接合要領書に従って、ロックリングおよびストッパを確認したら「OK」を記入する。
ストッパの引き抜き					ストッパを引き抜いたら「OK」を記入する。
受口端面～ 白線の間隔 (L') ^{注2)}	①				(i) 一方から順次配管していく場合 単位mm 呼び径 L' 75 90 100 95 150 110 200 120 250 120 300 135 350 145 400 150 450 155
	③				
	⑤				
	⑦				
両挿し口端の 間隔 (y1) ^{注2)}	①				(ii) せめ配管の場合 単位mm 呼び径 y1 75 190 100 200 150 240 200 250 250 250 300 300 350 300 400 300 450 300
	③				
	⑤				
	⑦				
T頭ボルト	本数				締め付けたT頭ボルトの本数(本)を記入する。
受口端面～ 施工管理用突部 の間隔 ※	箇所数				押輪の施工管理用突部と受口端面の間隔を隙間ゲージで確認した箇所数(箇所)を記入する。
	隙間ゲージ 確認				接合要領書に従って、隙間のないことを隙間ゲージで確認したら「OK」を記入する。
押しボルト	本数				締め付けた押しボルトの本数(本)を記入する。(G-Linkの場合)
	トルク確認				押しボルトを規定のトルク(100N・m)で締め付ければ「OK」を記入する。(G-Linkの場合)
判 定					全てのチェック項目を満足していれば「OK」を記入する。
備 考					

判定基準 ※ 受口端面と押輪またはG-Linkの施工管理突部との間に0.5mm以上の隙間がないこと。

注1) 挿し口突部の無い挿し口を異形管受口と接合する場合は、G-Linkを使用すること。

注2) 一方から順次配管していく場合にはL'寸法、せめ配管の場合にはy1寸法を記入すること。